

平成21年12月定例会



平成21年第7回定例会は、11月30日から12月18日までの会期19日間で開かれました。総額約42億1700万円の一般会計補正予算案や福山市営競馬検討委員会条例の制定案など36議案を原案どおり可決しました。

また、継続審査となった請願2件を除き、決議案1件と意見書案1件を可決したほか、人権擁護委員の候補者を推薦することについて同意しました。

定例会では、各会派の議員6人が議案や市政全般について質問しました。

その概要は、次のとおりです

質問および答弁(要旨)

平成22年度予算編成について
(水曜会)

問 国においては、新政権発足後にすべての予算の組み替えや既存予算のゼロベース見直しなど、新たな方針で予算編成が進められている。地方自治体への影響が不透明な部分もあるが、市長は今後の市政運営にどのような姿勢で臨むのか。

答 新政権の取り組みが新年度の予算編成や制度見直しに反映されるのか、現段階では不透明な状況だが、少なからず地方の行財政

新春のごあいさつ



議長
小川 眞和

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

福山市は、第四次福山市総合計画に基づき、市民との協働によるまちづくりの推進とともに、都市機能のさらなる充実に取り組んでいるところですが、景気

や雇用は依然として非常に厳しい状況にあります。

そうした中、経済・雇用対策や東桜町地区市街地再開発事業、2011年4月の開学をめざす(仮称)福山市立大学建設工事などの都市基盤整備が進められており、早期完成を願っております。

市議会としては、今後も皆さまの願いを市政に反映するべく努めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆さまのご多幸を祈念いたしましてごあいさついたします。

天皇陛下御即位20年を祝す賀詞決議

天皇陛下におかれましては、本年11月12日に御即位20年を迎えられましたことは、慶賀にたえないところであります。

ここに福山市議会として、ひとしく謹んで慶祝の誠を表します。

可決した意見書

議員提案による次の意見書を可決し、福山市議会の意思として、その実現に向け、国会および関係機関に送付しました。

詳しい内容は、議会のホームページでご覧いただけます。

◆改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書

市民生活を支える新年度予算編成を(日本共産党)

運営に影響を及ぼすと考える。市民の生活を守ることは行政の責務であり、今こそ本市の総合力を高め、真価を発揮する時期である。大変厳しい財政環境にはあるが、市民一人ひとりを大切にす人間重視、環境重視の取り組みを進め、将来にわたり持続可能なまちづくりに全力で取り組んでいく。

問

新政権のもと、本市の新年度予算編成において、環境破壊、町壊しにつながる大型道路建設や、歴史遺産、景観破壊につながる軀港埋め立て架橋計